

静岡大学地域創造教育センター（地域人材育成・プロジェクト部門）

地域と大学

第36号

Newsletter No.36, Division of Regional Collaboration and Lifelong Learning

イノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門 改組のお知らせ

学務部教育連携室地域人材育成・プロジェクト係長 鈴木 貴晴

イノベーション社会連携推進機構地域連携学習部門は、平成29年10月1日付けにて開設された地域創造教育センターの傘下に入り、「地域人材育成・プロジェクト部門」としてその名称を変更し、新たなスタートを切ることとなりました。

地域創造教育センターは静岡大学において地域社会との教育連携の中核的役割を担い、地域志向を持った人材を育成するとともに、教育研究を通じて地域社会の発展に貢献することを目的として開設されたものです。

同センターには、社会人の研修（地域コーディネーターの養成等）プログラムの構築、地域課題の解決を目的とした事業の実施、また大学開放事業の企画、立案、実施等について担う「地域人材育成・プロジェクト部門」の他、全学学士横断型教育プログラム「地域創造学環」の運営を中心とした「地域創造学環部門」、地域社会との窓口となることで、地域と大学を繋ぐ役割を果たす「地域連携室」という1室2部門の構成となっています。

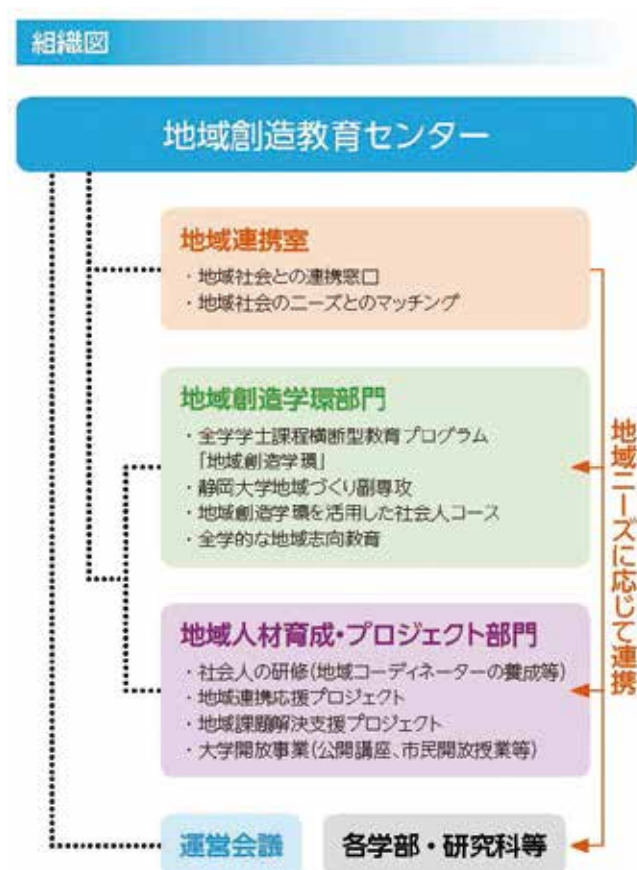
今後、地域創造教育センターでは各組織それぞれに掲げた目標のもと（右図を参照）、地域社会との連携を強く意識し、その役割を果たすべく、様々な事業に取り組んでいくと共に、地域のニーズに応じて、同センター内だけでなく、各学部、研究科等、他の部局との組織間を越えた連携活動にも注力していきます。

また、地域人材育成・プロジェクト部門においては、平成31年度に社会教育主事講習の実施が控えているところです。この講習は、フォローアップ研修などと併せ、地域と大学とを繋ぐ重要な地域人材育成事業と

なっています。地域人材育成・プロジェクト部門では、これまで様々な事業を通して培ってきたネットワークを活かした地域人材育成事業を展開していきたいと思っています。

地域創造教育センター HP :

<https://wwp.shizuoka.ac.jp/education-center/>



2017年度静岡大学公開講座

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	延べ人数	受講料	主催
中国人による中国講座 ～日本人の知らない中国～ [全8回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 大学教育センター講師・翟 勇 法務研究科教授・朱 擘 静岡大学非常勤講師・金 小賢 静岡大学非常勤講師・王 元武 静岡大学非常勤講師・盧 思 静岡大学非常勤講師・周 佩芳	4/15(土)、5/22(月)、 6/24(土)、7/22(土)、 9/30(土)、10/28 (土)、11/25(土)、 12/23(土) 13:00～ 15:00 5/22のみ18:00～ 20:00	静岡キャンパス	一般市民	80	264	無料	人
医療中国語 [全16回]	人文社会科学部准教授・張 盛開 静岡大学非常勤講師・王 元武	4/15・22、5/20・ 27、6/24、7/15・22、 8/26、9/30、10/21・ 28、11/4・25、 12/23、2018.1/27、 2/10(土) 15:30～ 17:00	静岡キャンパス	一般市民	20	99	8,100	人
藤枝フィールドの散策と春 の雑草観察	農学部教授・稲垣栄洋	4/22(土) 10:00～14:00	農学部附属地 域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	どなたでも(小 学生以下は保 護者同伴)	20	43	無料	農
私のミカン～ミカンの通年 管理教室～ [全5回]	技術部技術専門職員・成瀬博規 技術部技術職員・周藤美希 農学部准教授・八幡昌紀	5/9、7/11、9/12、 11/14、2018.3/6 (火) 13:30～15:30	農学部附属地 域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	38	10,000	技
安心登山・アウトドア活動 のための読図とナビゲー ションスキル(初級編)	教育学部教授・村越 真 ブロードベンチャーレーサー・宮内佐 季子	5/14(日) 9:30～16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトド ア活動を行う 一般市民	25	23	3,000	教
静岡大学で学ぶ春の走り方	シャローム学園・二見隆亮	5/20(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民(中 学生以上)	15	10	2,000	教
ふじのくにのホモ・サピエン ス～3万5千年前の遺跡から 現代人的行動を探る～ [全3回]	人文社会科学部准教授・山岡拓也 明治大学黒耀石研究センター研究員・ 池谷信之	6/17・24、7/8(土) 14:00～16:00	プラサヴェルデ (ふじのくに千 本松フォーラ ム)	一般市民	80	188	無料	イ
学ぶって楽しい ～大学で学ぼう～ [全3回]	静岡市消防局 職員 文京学院大学客員教授・松為信雄	6/18(日) 9:30～ 11:30 10/15(日) 9:30～ 11:30、13:00～ 15:00	静岡キャンパス	一般市民	100	83	無料	教
世界の名著を読む～J・S・ ミル『自由論』を読む～ [全2回]	人文社会科学部教授・井柳美紀	7/8(土)、7/9(日) 10:00～12:00	アイセル21(静 岡市葵生涯学 習センター)	どなたでも	15	28	無料	人
静岡大学で学ぶ夏の走り方	シャローム学園・二見隆亮	7/22(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民(中 学生以上)	15	9	2,000	教
紅茶作り挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/27(木) 13:00～16:00	農学部附属地 域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民(小 学生以下は保 護者同伴)	20	20	1,000	技

講座名	講師	日時	会場	対象	各日定員	延べ人数	受講料	主催
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 技術部技術職員・森内良太	8/2水) 10:00～17:00、8/3木) 10:00～15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	42	無料	グ
体験!大学の化学実験 [全2回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満 理学部講師・守谷 誠	8/19(土)、8/20(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生(保護者の同伴可能)、理科教育の関係者	30	24	無料	グ
中高生のための心理学入門	人文社会科学部教授・笠井 仁 人文社会科学部教授・橋本 剛 人文社会科学部教授・幸田るみ子	8/22(火) 9:30～12:30	静岡キャンパス	中学生・高校生	50	124	無料	人
静岡大学で学ぶ秋の走り方	シャローム学園・二見隆亮	9/16(土) 14:00～17:00	静岡キャンパス	一般市民(中学生以上)	15	7	2,000	教
静岡大学キャンパスミュージアム公開講座2017 [全4回]	理学部准教授・徳岡 徹 人文社会科学部准教授・山岡拓也 理学部准教授・石橋秀巳 ふじのくに地球環境史ミュージアム・岸本年郎	10/7・14・21・28(土) 10:00～12:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、小中高生(中学生以下は保護者同伴)	15	43	無料	キ
安心登山・アウトドア活動のための読図とナビゲーションスキル(中級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元アジアチャンピオン・小泉成行	10/9(月・祝) 9:30～16:30	静岡市郊外	過去に初級編を受講した方、又は地形図の基礎知識がある登山経験者で6-7km程度を無理なく歩ける方	20	20	4,000	教
フルーツの多様性から農業ビジネスの可能性を探ろう! [全3回]	鳥取大学農学部教授・田村文男 農学部准教授・松本和浩 農研機構果樹茶業研究部門・吉岡照高 キウイフルーツカントリー Japan代表・平野耕志	10/13、12/1、2018.2/23(金) 14:00～17:00	健康文化交流館「来・て・こ」	フルーツの多様性を活用した農業ビジネスの展開に興味がある方	50	145	無料	農
市民社会と法 [全5回]	法務研究科教授・阿波連正一 法務研究科教授・板倉美奈子 法務研究科教授・朱 嘩 法務研究科教授・吉川真理 法務研究科教授・恒川隆生	10/21、11/11、12/9、2018.1/20、2/10(土) 13:30～15:30	アイセル21(静岡市葵生涯学習センター)	どなたでも	30	102	無料	法
人工知能が拓く明日の暮らし	情報学部准教授・木谷友哉 情報学部准教授・狩野芳伸 情報学部講師・中澤高師 情報学部教授・西村雅史	11/11(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならどなたでも	100	85	無料	情
アカデミック・カフェ ロボットと共生する情報社会	情報学部講師・中澤高師 情報学部教授・岡田安功 情報学部学生・加藤史也 情報学部教授・吉田 寛	11/12(日) 13:00～15:00	浜松キャンパス	中学生・高校生・一般市民	30	17	無料	情

[主催欄凡例]

イ=イノベーション社会連携推進機構(地域連携生涯学習部門) 人=人文社会科学部 教=教育学部 農=農学部
情=情報学部 キ=キャンパスミュージアム グ=グリーン科学技術研究所 技=技術部 法=法務研究科

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

静岡大学では、大学創立60周年を機に、読売新聞東京本社静岡支局、中日新聞東海本社と連携した市民向け講座を開講し、2017年度で9年目を迎えました。継続して開講してきたため、いずれも市民の間に浸

透・定着し、受講者の数は増加しています。来年度も開講を計画していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「〈ヒト〉を科学する」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	7/1(土)	人間の知性を探究し、デザインする	大島 純(静岡大学情報学部教授)	166
2	8/5(土)	なぜ対人関係のストレスは苦しいのか	橋本 剛(静岡大学人文社会科学部教授)	213
3	9/2(土)	コンピュータは言葉を操れるか ～人間と人工知能の自然言語処理	狩野芳伸(静岡大学情報学部准教授)	178
4	9/30(土)	食と運動を科学し健康をマネジメントしよう	竹下温子(静岡大学教育学部准教授)	173
5	10/21(土)	運動・認識を学習するロボットを通じて人の知能を考える	小林祐一(静岡大学工学部准教授)	128

■会場：あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座「健康・医療の可能性を拓く」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	9/12(火)	酵母の秘密を解き明かせ! ～生命科学の発展を支える酵母たち	瓜谷真裕(静岡大学理学部教授)	58
2	10/10(火)	キノコは自然の化学工場 ～生命現象をつかさどる分子を求めて	河岸洋和(静岡大学グリーン科学技術研究所教授)	52
3	11/14(火)	光技術が開く医療の可能性 ～メディカルフォトリニクス最前線	三村秀典(静岡大学電子工学研究所長)	65
4	12/12(火)	医薬品開発を加速する分子のチカラ	鳴海哲夫(静岡大学工学部准教授)	51
5	1/16(火)	手術が変わる! ～メディカルフォトリニクスの新技術	山本清二(浜松医科大学理事・副学長/イノベーション光医学研究室)	61

■会場：静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分館(S-Port)3階大会議室

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

2017年度下半期(9月～3月)の事業報告

主催事業

公開シンポジウム

「地域課題が拓く教育と研究の可能性」

地域の様々な課題を公募し、その解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」が5年目を迎え、県内各地で活動を展開しています。また、10月には地

域創造教育センターが立ち上がり、これまで県内各地で展開していたフィールドワークをさらに拡充しようとしています。

これまでのプロジェクトの、地域・大学双方の関係者を集めたシンポジウムを開き、県内の取り組み事例を報告しながら、地域課題に取り組むことによって広がる教育と研究の可能性を探りました。

・日時：2017年12月27日(水)13:30～17:00

- ・会場：静岡大学静岡キャンパス共通教育A棟301
松崎町交流拠点施設ふれあいと一ふや。(遠隔
テレビシステムで2会場を結んで実施)

・プログラム：

[地域連携・課題解決支援の事例報告]

- ①「伊豆賀茂地区における地域づくりの課題と可能性」報告：深澤準弥（松崎町企画観光課）、山口一実（南伊豆町地方創生室）、荒武優希（NPO法人ローカルデザインネットワーク）、地域創造学環学生
- ②「フューチャーセンター×地域 松崎町・菊川市・島田市における取り組み事例から」報告：宇賀田栄次（静岡大学学生支援センター准教授）、静大フューチャーセンター運営学生
- ③「菊川地域でのプロジェクト～茶夢来の取り組み事例から～」報告：前島國治（プロジェクト・コーディネーター）

[パネル・ディスカッション]

- ・パネリスト：報告者、課題提案者
- ・コーディネーター：阿部耕也（静岡大学地域創造教育センター教授）
- ・参加費：無料
- ・参加者数：80人

地域連携応援プロジェクト 「地域連携報告会」

静岡大学は2017年に「地域志向大学」宣言をし、地域の皆様と連携・協働をこれまで以上に推進することとしました。

キャンパスのある地域だけでなく県内各地域で展開する大学－地域連携の取り組みならびに市民の方々が参加できる大学開放事業を紹介しました。

- ・日時：2018年3月15日（木）13:30～14:30
- ・会場：藤枝市産学官連携推進センター
- ・プログラム

 - ①「ICTを活用した子どもたちのキャリア意識の向上～プロフェッショナルを学校へ～」報告：塩田真吾（静岡大学教育学部准教授）、高瀬和也（静岡大学教育学部4年）
 - ②「静岡赤十字病院小児科外来壁画プロジェクト Happy Hospital Project ～楽しさが生まれる空間づくり～」報告：高橋智子（静岡大学教育学部准教授）、石川千尋（静岡大学教育学部研究科1年）、漆畑ゆず（静岡大学教育学部3年）
 - ③「安倍川源流域における集落水道の参加型管理～「水の自治」から集落自治への学習活動～」報告：

藤本稜彦（静岡大学農学部准教授）、伊東さの子（静岡大学総合科学技術研究科農学専攻2年）

- ④「地域創造学環フィールドワーク報告～とうもろの里での取組から～」報告：久保山健太（静岡大学地域創造学環1年）、小西涼奈（静岡大学地域創造学環2年）

- ・参加費：無料
- ・参加者数：28人



共催事業

生涯学習指導者研修事業 「公民館の力を磨く」

静岡県内の公民館活動などを通して、生涯学習事業を展開している生涯学習指導者への教育研究情報の提供と大学とのネットワークづくりを進めるとともに、指導者の資質の向上をはかることを目的に、静岡県公民館連絡協議会との連携事業として実施するものです。

公民館を取り巻く環境は近年大きく変化し、社会教育・生涯学習の場として、また人材育成・地域づくりの拠点として、これまで以上に地域の住民・機関・団体との連携・協働が求められています。地域のもつ資源、人材、ネットワークを活かしながら、子ども・若者など若い世代の学びを支え、世代間交流を活性化し、地域づくりにつなげる方策を探りました。

- ・日時：2017年12月7日（木）10:20～16:00
- ・会場：静岡市興津生涯学習交流館
- ・プログラム：

[基調報告]

- ①「地元学を学ぶ、活かす～気付きと発見から始ま

るまちおこし〜」講師：皆田 潔（静岡大学地域創造教育センター准教授）

- ②「地域の交流拠点をつくる〜ダイロクキッチンの挑戦〜」報告者：荒武優希（NPO法人ローカルデザインネットワーク／東伊豆町地域おこし協力隊）

[事例報告]

- ①「浜松市南陽協働センター〜地域の特色を活かした事業の紹介〜」報告者：松本文哉（浜松市南陽協働センター所長）
- ②「森下地区サポーターズネットワーク」の取り組みから」報告者：三宅秀典（静岡大学教職大学院2年）
- ③「子供の貧困対策に対する地域の役割」報告者：佐野七彩（常葉大学教育学部4年）

[グループワークと成果発表]

ファシリテーター：天野浩史（NPO法人静岡フューチャーセンター・サポートネット ESUNE 代表理事）

- ・参加者数：44人
- ・参加費：無料
- ・主催：静岡大学地域創造教育センター（地域人材育成・プロジェクト部門）、静岡県公民館連絡協議会

企画協力事業

吉田町大学特別公開講座 「秋の夜長に、日本文学リレー」

- ・日時：2017年11月2日（木）～11月30日（木）[全4回]
19:00～20:30
- ・プログラム：

- ①11/2（木）「夏目漱石の『こころ』について」講師：森本隆子（静岡大学人文社会科学部准教授）
- ②11/9（木）「源氏物語の現在」講師：袴田光康（静岡大学人文社会科学部教授）
- ③11/16（木）「小説家・谷崎潤一郎を考える『春琴抄』を中心に」講師：中村ともえ（静岡大学教育学部准教授）
- ④11/30（木）「芥川龍之介の『藪の中』について」講師：今野喜和人（静岡大学人文社会科学部教授）

- ・参加費：2,000円
- ・会場：吉田町中央公民館
- ・対象：高校生以上の方

日本経済新聞連載企画 「静岡発 私の提言」

2015年5月から始まった「静岡大発 私の提言」は、

2016年7月から「静岡大発 私の提言」となり第2クールがスタートし、2017年8月まで連載しました。10月からは「静岡発 私の提言」として、装いも新たに静岡県立大学、静岡産業大学、静岡大学の3大学が持ち回りで、静岡県の抱える問題について企業や行政はどう向き合うべきか、旬のテーマを取りあげながら提言を紹介し、大学の知見を読者に紹介することで、地域と大学を結びつけたいと考えています。

その他の地域連携事業

静岡県議会議員と静岡大学学生 意見交換会

静岡県議会事務局との連携事業第1弾として、静岡大学学生による県議会傍聴と議員との意見交換会を12月8日に実施しました。人文社会科学部・日誌ゼミの3年生10人が参加し、本会議場で12月定例会一般質問を傍聴した後、静岡県の活性化と若者の定着促進をテーマに鈴木澄美県議、大石裕之県議と意見交換を行いました。



市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目を、一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2017年度の前・後学期別の開講科目数・受講者数の状況は下表のとおりです。

開講科目数			受講者数		
前学期	後学期	合計	前学期	後学期	合計
223	215	438	156	124	280

地域課題解決支援プロジェクト進捗状況

地域の課題を公募し、解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も5年目に入りました。

本年度下半期に取り組んだ課題の進捗状況について報告します。

●南伊豆町

12月4～5日、南伊豆町が進めるお試しサテライトオフィス誘致事業「南伊豆るプロジェクト」に地域創造教育センター教職員4名が参加しました。

地域おこし協力隊・鏑木さんの案内で商店街の空き店舗改修等を視察し、活用法について意見交換を行うとともに、松本前副町長および元地域おこし協力隊・松原さんに案内いただき、同町伊浜地区の視察を行いました。

また、12月8～9日、須藤大学教育センター准教授の研究グループがお試しサテライトオフィス事業で南伊豆町の視察・意見交換を行うとともに、2月14日には、地域創造学環のフィールドワークの一環として教員・学生が商店街の視察を行いました。



南伊豆町商店街の空き店舗改修の様子



南伊豆町伊浜地区の視察

●東伊豆町「ハートプロジェクトin東伊豆」

東伊豆町からの地域課題提案をきっかけに、今年度後期から地域創造学環のフィールドワークが始まりました。課題提案者である東伊豆町地域おこし協力隊・荒武優希さんを中心としたNPO法人ローカルデザインネットワーク（LDN）にフィールドワークを担当いただき、東伊豆町をフィールドに選んだ1年生4人の学環生が取り組んでいます。

今期第3回のフィールドワークでは、それまでの2回にわたる取り組みの成果を活かし、東伊豆町稲取地域を舞台にしたフォトコン&スタンプラリーの企画として「ハートプロジェクトin東伊豆」を1月20日に開催しました。静岡県内大学生20人を集め、街歩きの中で稲取の魅力をみつけSNSで発信し合いました。コンテストとして審査も行い、入選作品は東伊豆町のPRに活用されました。



「ハートプロジェクトin東伊豆」説明風景



「ハートプロジェクトin東伊豆」集合写真

地域人材育成・プロジェクト部門からのお知らせ

生涯学習教育研究センター開設20周年 「地域と大学」刊行20周年

地域人材育成・プロジェクト部門の前身である生涯学習教育研究センターが1997年4月に開設されてから、2017年度で満20周年を迎えました。2018年3月末にはこれまでの歩みを綴った20周年記念誌を刊行の予定です。また、「地域と大学」も1998年3月の刊行開始から20年を迎え、第36号は節目の号となりました。

この20年で生涯学習教育研究センターからイノベーション社会連携推進機構地域連携生涯学習部門、地域創造教育センター地域人材育成・プロジェクト部門と名称が変わり、「生涯学習」という言葉も消えましたが、引き続き公開講座や市民開放授業等の大学開放事業や地域連携、地域人材育成事業を担当しています。生涯学習支援から地域連携・課題解決支援、地域人材育成に力点を移しても、多種多様な学び手が世代を超えて学び合うという生涯学習の形態は変わりありません。

これまで行ってきたさまざまな事業にご参加いただいた受講生や関係者の皆さまとのつながりを大事に、これからより一層地域と大学が連携・協働していくた

めの「開かれた」大学の窓口であり続けますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「地域連携シーズ集」刊行

静岡大学の教育研究資源を社会に開放し、地域の重要課題の解決や産業活動の活性化に寄与することで、本学と地域社会の連携をより一層推進することを目的に「静岡大学地域連携シーズ集」を作成しました。

講座講師や各種委員会の委員選定のご参考に、あるいはこれまでの「産学連携研究シーズ集」とあわせて共同研究のご相談に、幅広くご利用いただければと思います。



企画実施委員会

旧地域連携生涯学習部門・企画実施委員会は、地域連携・生涯学習に関する事項、全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放に関する事項を検討する委員会でしたが、10月1日付けの地域創造教育センターへの統合を受け、同センターの企画実施委員会として規則化されることとなりました。

委員名簿 (2017年度)

丹沢 哲郎	地域創造教育センター長・理事
平岡 義和	地域創造教育センター教授
阿部 耕也	地域創造教育センター教授
皆田 潔	地域創造教育センター准教授
岸本 道明	地域創造教育センター特任教授
笠井 仁	人文社会科学部教授
渋江かさね	教育学部准教授
岡田 安功	情報学部教授

三重野 哲	創造科学技術大学院教授
戸田三津夫	工学部准教授
今泉 文寿	農学部准教授
水谷 洋一	地域創造学環教授
松尾由希子	大学教育センター准教授
須藤 智	大学教育センター准教授
村本 定則	学務部教育連携室長

地域と大学 第36号

発行日——2018年3月29日

発行——静岡大学地域創造教育センター
(地域人材育成・プロジェクト部門)

編集——大谷 悦子

連絡先——〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

(事務局) 学務部教育連携室 ☎ 054-238-4056